

第4表 かながきの例

可	不 可	可	不 可	可	不 可
あいまって あえて あたかも あと 当たる、当てる あらかじめ あらゆる ある あるいは あわせて …(と)いう	相俟って 敢て 恰も 後 当る、充る 予め 凡、総、凡有 土る、有る 或は 併せて …(と)言う、… (と)云う、 如何(なる)、 如何(に) …(して)行く 幾分 何れ、孰れ、いづれ 徒に …(して)頂く、 戴く 一々 一番 何時 一切 一諸に 一斉に 一層 一体 一旦 一杯に 一偏に 未だ 愈々 居る 色々の 所謂 …(の)中 …(し)得る 云々 於て 慨ね 大凡、大約 …(して)置く 遅い、晚い 追って 各々 自ら 主な 徐に …(した)、(の) 折 却 斯る、斯して 拘ず 硬い 且 恰好 會て、嘗て 勝手に 可成 兼々 予て 構わない 仮に 乾く 来す	くふう …くらい ぐあい ここ …こと ことさら この、これ ころ ごとく ごとに ささえる さしあたり さしつかえ さそく さほど さまさま しいて しかし しかしながら しかも しきりに したがって しだいに しばしば しばらく しまう じきに 十分に …(し)すぎる すこぶる すなわち すばやい すべて すみやかに する ずいぶん ずつ ぜひ そこ その、それ それぞれ …(し)たい たいせつ たいてい たいへん たくさん ただ だだし たちまち たまたま ため だいたい だいぶん だけ だれ だんだん ちなみに ちように ちょっと ついて ついで ついに つもり ていねい できる とうてい …(の)とお	工夫 位 具合、工合 此処、茲、爰 事 殊更 此、是、之 頃 如く 毎に 支える 差当り 差支 早速 左程 様々 強いて 併し、然し 乍 然も、而も 頻りに 従って 次第に 屢々、屢次 暫く 了、終、仕舞う 直に 充分に …(し)過ぎる 頗る 即ち、則、乃 素早い 凡、総、全 速やかに 為 随分 宛 是非 其処 其、夫 夫々 …(し)度い 大抵 大麥 沢山 唯、只、畜、惟 但し 忽ち 偶々、会々 為 大体 大分 丈 誰 段々 因みに 丁度、恰度 一寸、鳥渡 就て、付いて 序 遂に 積り、心算 丁寧 出来る 到底 …(の)通り	とかく、とにかく とき(の) (する)とき どこ、どこ どの、どれ …ところ とても とりあえず ともに ないし なお なかなか ながら なぜ など、ら なるべく なるほど (し)にくい はいる はなはだ ばかり ひいて ひととおり ページ ほう(の)、(する) ほう ほかに ほとんど ほど ほほ まことに まして ますます まちがい まで まま みなす むしろ むずかしい、むづかしい 明りょう もたらす もちろん もつ もって もとより もとより もはや …(し)やすい やっかい やはり やむをえず やや ややもすれば ゆえに ゆえん ようす ように ようやく よく よほど よって、よる りっぱ わかる わざわざ わたって	兎角 時(の) (する)時 何処 何の 所、処 迎も 取敢えず 共に 乃至 尚、猶 仲々、却々 乍ら 何故 等、杯 成可 成程 …(し)難い 入る 甚だ 許り、計 延いて、惹いて 一通り 頁 方(の)、(する) 方 外に、他に 殆んど 程 略々 誠に 況して 益々 間違ひ 迄 儼 看做す、見做す 寧ろ 六ヶ敷い 明瞭 贅す 勿論 有つ 以って 下に、許に 元、素、固より 最早 …(し)易い 厄介 矢張り 不得已、止 稍 動もすれば 故に 所以 好い、良い 様子、容子 様に 漸く、能く 克程 余程 依、由、因、拠 立派 分、判、解る 態々 亘って、渡って